

<2012 年度春学期 PBL スタジオ 1 メディア軸 第 2 回>

2012.05.25 (金) 19:00-22:00

担当教員：五十嵐太郎 (東北大学大学院都市・建築学専攻)

講師：小崎哲哉 (京都造形芸術大学)

担当研究員：斧澤未知子 (SSD)

配布資料：・レジュメ (本資料)

・<宿題提出によるトピック一覧>

・<諸メモ>

・<宿題提出資料>各受講生

・<装幀案提出資料>森谷

小崎哲哉レクチャー

「越境するパフォーマンスアーツ」

小課題出題

編集会議 # 2

- ・ 五十嵐先生自己紹介、受講生 (再) 自己紹介 (名前、顔、何をしているか)
- ・ 宿題の発表
 - リサーチで集めてきたコンテンツについて各自発表
- ・ コンテンツの担当決め
- ・ リサーチ結果の分類と全体のぼんやりとした構想
 - ここで出た話を編集担当が次回までに形にして持ってくる
- ・ 装幀コンセプトが出そうであれば相談
- ・ S-meme について各自が思うところがあれば
- ・ 宿題の出題 (各リサーチを深めて企画書を書いてくる。A4 用紙、書式、枚数自由。)

ギャラリー ターンアラウンド 見学

懇親会

* 受講生間のメールアドレス共有の了承

→全員に知らせたいことがあれば発信者から全員に対して直接連絡する

<宿題提出によるトピック一覧>

【展覧会、イベント】

- ・ 60 のダルマ展 (森谷)
- ・ 仙台アンデパンダン展 2012、ゼロ次元展 (森谷、梅森)
- ・ 翁譲の一週間 SARP / 一週間荒町南鍛冶町 (森谷、梅森)
- ・ メディアテーク (初めての美術、志賀さん外) (梅森)
- ・ A 級 Missing Link + 三角フラスコ公演「限定解除、今はまだ語れない」「あと少し待って」(森谷)
- ・ 東北トリエンナーレ構想 (大沼)
- ・ 宮城、仙台のフィルムコミッション (大沼)
- ・ Scale-out 展 (田多)

【空間、場所】

- ・ カフェとアート、地域に置けるギャラリー、ギャラリー喫茶 (筒井、梅森)
- ・ 街の中のアート (彫刻 / 銅像 / 街灯など) (森谷)
- ・ 美術館・ギャラリーの立地について (森谷)
- ・ オーサムクリエイターズショップ (筒井)
- ・ アンパンマンミュージアム (筒井)
- ・ 気仙沼リアスアーク美術館 (大沼)

【人、アーティスト】

- ・ 佐藤忠良 (梅森)
- ・ 白 A (伊藤)
- ・ 樋口佳絵 (田多)
- ・ 宮城県出身の漫画家たち (筒井)
- ・ 仙台ゆかりの作家 (筒井)

【教育プログラム】

- ・ 大学による社会人向けの講義など、高奥の美術サークル等 (森谷、梅森)

【その他】

- ・ 誰の中にでも存在しているアート (筒井)
- ・ 画材屋、画廊店からみた仙台のアート (梅森)
- ・ 現代アートを勉強する (出原)
- ・ 東北、宮城、仙台の伝統芸能、祭り、文学 (大沼)
- ・ ゆるキャラ (大沼)

<諸メモ>

<編集会議#1 で決まった各担当>

【編集】 大内／大山／森谷／梅森／出原／大沼

【編集作業】 出原／大沼／（筒井／川村）

【装幀、デザイン】 筒井／伊藤／大内／川村

* 宿題とその提出について

【宿題】

[各自] 各リサーチを深めて企画書を書いてくる。A4用紙、書式、枚数自由。

提出の形式にまとめた A4 サイズのデータを

・6月7日（月）24：00 までに斧澤まで送る

・6月12日（火）授業開始前（19：00 より前）に斧澤に渡す

のどちらかで提出。

[編集担当] 今回の編集会議を受けブロック構成程度の全体構成案を作成

次回編集会議に持参

[装幀担当] 今回の編集会議を受け総提案について話を進める（製本部打ち合わせセッティング可）

次回編集会議に持参

■次回講義

<3>6月12日（火）

村上氏レクチャー：

編集会議#3：全体の構想のほぼ決定とチェック

[各自] 担当コンテンツについて、リサーチを元に企画書（人に伝えられる程度のメモ書き）を提出

[編集担当] 前回の編集会議を踏まえブロック構成程度の全体構成案を作成 → 五十嵐チェック

文字数／図版のカット数／その他の原稿の規定を与える？

[装幀担当] 製本部との打ち合わせをしていればそれについて報告